

事業名：【H29当初】\_産地活性化総合対策事業(農畜産業機械等リース支援事業)

所在 市町村等	事業実施主体	実施年度	目標年度	目標1						目標2						事業計画 の妥当性	適正な事 業執行	地方農政局長等の所見				
				目標	単位	目標数値						目標	単位	目標数値								
						現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率	再評価 実績値	再評価 達成率			
南城市	沖縄県農業協同組合	平成29年度	令和2年度	生産量を5%以上増加	t	1,552.0	1,894.0	1,150.0	-117.5%	1015	-157.0%	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	kg/10a	5,928.00	7,450.00	6,131.00	13.3%	5,691	-15.57%	○	○	ハーベスターを導入することで生産量の増加と、単収の向上を目指したが、どちらも目標未達。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向け取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。

## 事業名:【H30当初】産地活性化総合対策事業(農業機械等リース支援事業)

所在 市町村等	事業実施主体	実施年度	目標年度	目標1								目標2								目標3								事業計画 の妥当性	適正な事 業執行	地方農政局長等の所見	
				目標	単位	目標数値				目標	単位	目標数値				目標	単位	目標数値				目標年 達成率	再評価 達成率	事業計画 の妥当性	適正な事 業執行						
						現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率			現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率			現状	目標	目標年 実績値	目標年 達成率										
八重瀬町	合同会社TKF	平成30年度	令和2年度	10a当たりの労働時間 10%以上削減	hr/10a	105.7	33.5	36.2	96.3%	35.8	96.8%	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	kg/10a	5,057	6,381	5,226	12.8%	4,631	-32.18%	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	ハーベスターを導入することで収穫労働時間が削減された結果 労働時間の削減に係る成果目標は達成。一方、ハーベスター導入により削減した労働時間を活用し、株出管理作業を適期適切に実施することで、株出栽培における単収を増加する計画だったものの、株出栽培に生育初期に当たる3月～5月の降水量が平年値を大きく下回ったため、欠株の発生が多くなった他、6月～8月の長雨で生育旺盛期における日照時間も平年を下回ったことから、分げつ数も減少し目標未達となった。しかしながら、事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き目標達成に向けた取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。	
豊見城市	農業生産法人 株式会社棄棄	平成30年度	令和2年度	10a当たりの労働時間 10%以上削減	hr/10a	57.8	45.0-	-	47	84.5%	株出栽培の10a当たり 収量5%以上増加	kg/10a	4,600	5,779	5,382	66.3%	5,085	41.1%	生産量を5%以上増加	t	1,491	1,794	1,300	-63.0%	1,321	-56.1%	C	C	○	○	トラクターやブロソイラ、中耕ロータリーを導入することで、耕起、碎土、培土等の労働時間を削減するとともに、中耕・根切り作業により株出栽培における萌芽を促進することで、単収を高める計画であり、労働時間の削減と株出栽培の単収増加については、目標には達していないものの、基準年と比較し、一定の成果が見られるところ。一方、生産量が大きく減少した要因は、受益地区における都市化により、計画策定時よりも大きく収穫面積が減少したことによるものであり、現在、事業実施主体においては、単収向上との併せて、近隣市町村の耕作放棄地を借り受け、収穫面積を増やすことで、生産量の増加に向けて取り組んでいるところ。 事業計画は妥当であり、事業執行は適切であることから、引き続き、受益農家に対して労働時間の削減や株出管理等による効果を周知することで、目標達成に向けた取組を求め、次年度に再評価を行うものとする。